

## Anti-Nuf2 抗体、ウサギ抗血清

70-107 100 µl

**保存:** 4℃または-20℃で送付、-20℃ で保存。

**抗原:** ヒト Nuf2、C-末領域に相当する合成ペプチド CGGDYSAKIDEKTAELKRKMFKMS

**形状:** 0.05% sodium azide 添加ウサギ抗血清

**反応性:** ヒト Nuf2。 他の種は調べられてない。

### 用途:

1. ウェスタンブロッティング(500~5,000 倍希釈)
2. 免疫蛍光染色 (200~1,000 倍希釈)。 メタノール固定が適する。

**背景:** **Nuf2 タンパク質**はセントロメアに結合するタンパク質複合体 Ndc80 の構成要素である。**Nuf2 タンパク質**は酵母からヒトまで保存され、生物種を超えて共通なタンパク質である。出芽酵母の **Nuf2** はセントロメアがスピンドル極体への接続を失う減数分裂前期にセントロメアからなくなり、染色体分離における制御的な働きをする。このタンパク質は有糸分裂期の **HeLa** 細胞のセントロメアに局在することがわかっており、動原体と動原体微小管の結合に重要であると考えられている。RNAi により **Nuf2 タンパク質**を阻害すると動原体と微小管との結合が障害され、細胞分裂は **prometaphase** で停止してしまう。**Nuf2 蛋白質**は **prometaphase** から **anaphase** の時期にキネトコアに積極的に局在する。

**データリンク:** UniProtKB/Swiss-Prot [Q9BZD4](#) (NUF2\_HUMAN)

### 文献:

1. Wigge PA and Kilmaetin JV “The Ndc80p complex from *Saccharomyces cerevisiae* contains conserved centromere components and has a function in chromosome segregation.” *J Cell Biol* **152**: 349-360 (2001) PMID: [11266451](#)
2. Nabetani A, Koujin T, Tsutsumi C, Haraguchi T, Hiraoka Y “A conserved protein, Nuf2, is implicated in connecting the centromere to the spindle during chromosome segregation: a link between the kinetochore function and the spindle checkpoint.” *Chromosoma* **110**: 322-334 (2001) PMID: [11685532](#)
3. DeLuca JG, Moree B, Hickey JM, Kilmartin JV, Salmon ED “hNuf2 inhibition blocks stable kinetochore-microtubule attachment and induces mitotic cell death in HeLa cells.” *J Cell Biol* **159**: 549-555 (2002) PMID: [12438418](#)

次ページへ

図 1. 細胞における Nuf2 タンパク質のウエスタンブロッティングによる検出

この抗体を 5,000 倍希釈して用いた。

ヒト Nuf2 タンパク質は 50kD のバンドとして検出された。

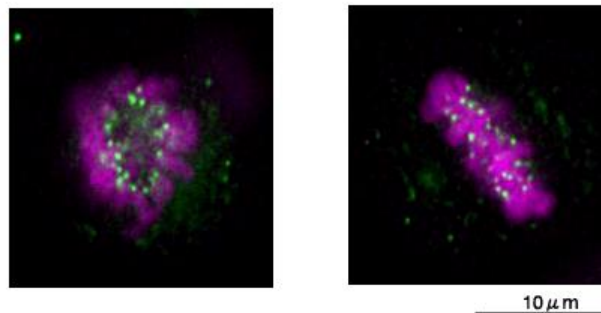
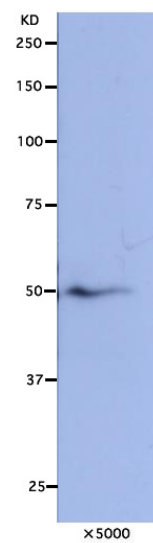


図 2 Nuf2 タンパク質の免疫蛍光染色における観察

細胞をメタノール固定し、この抗体を用いた免疫蛍光染色を行った。

この抗体を 500 倍希釈して用いた。

染色体は DAPI で紫色に染色、Nuf2 蛋白質は 緑色に染色されている。